



ハワイ大学医学部 Learning Clinical Reasoning Student Workshop 参加者募集

このワークショップは、ハワイ大学形式のPBLと基本的臨床技能を経験する実践的な留学プログラムです。症例シナリオから病態を推測する「臨床推論」を英語で学修します。また、シミュレーターを用いて救急患者の初期対応や筋肉注射などの基本的な手技を学修します。すべて英語を用いて開催されますので医学英語の習得にも役立ちます。日本からは他大学の医学部生も参加しますので、幅広い交流を持つ機会にもなります。さらに、このプログラムに参加することで、佐賀大学選択科目2単位も取得できます。

参加を希望する人は応募要領をよく読んで応募してください。

佐賀大学医学部国際交流事業実施部会 小田 康友・福森 則男

プログラム概要

期間	2024. 3/18(Mon)～22(Fri)
場所	ハワイ大学医学部 John A. Burns School of Medicine (JABSOM) at the University of Hawaii http://jabsom.hawaii.edu
	WSホームページ http://ome.jabsom.hawaii.edu/international-activities/intstudentworkshop/
募集定員	<u>4名</u>
単位認定	基礎系選択科目B01② ハワイ大学臨床推論ワークショップ（2単位）が取得可能
費用	<ul style="list-style-type: none"> WS参加費 無料（大学同士が国際交流協定を締結しているため） 渡航費・宿泊費・食費・雑費・海外旅行傷害保険への加入等が必要です。
奨学金	佐賀大学医学部後援会、医学部同窓会等から合計7～10万円程度が支給される見込みです。総合学修成績GPAや家計要件によって変わります。



応募要領

- 応募資格**
- 2023年度に医学科3、4年生であること。
 - 4年生は、共用試験CBT本試験に合格することが参加条件です。
 - 現地スタッフとコミュニケーションがとれる程度の英語能力を持つもの。
目安：TOEIC 600点以上、TOEFLiBT69点以上、英検2級以上
- 選考方法**
- 一次審査：提出書類および総合学修成績GPA、医学英語の成績などにより選考
二次審査：英語での面接審査（二次審査の日程は一次審査後に調整します）
- 提出書類**
- 様式はここからダウンロード https://www.med.saga-u.ac.jp/structure/education/education_4/education_401/
様式1：佐賀大学医学部海外留学プログラム 参加申請書
- 英語能力試験について**
- TOEFL・TOEIC・英検等の試験成績によって英語能力が証明できる人は、受験日・スコアを記載して、成績証明書のコピーを提出してください。
- 国際交流事業への参加履歴について**
- これまで本学が開催した留学プログラムへの参加歴、ハワイ大学や輔仁カトリック大学からの交換留学生の受け入れに協力したことがあるかなどを記載する。
- 応募動機・目標・学習計画は英文で記載すること。**
- 英語試験成績証明書のコピー
- 提出方法**
- 下記の提出先にメールで提出する。メールの件名に「ハワイ大学WS応募」と明記し、提出書類を全て添付する。
- ※様式1は、必要事項を入力したデータと、保護者サインを記入してスキャンしたものの2種類を添付してください。
- 提出先**
- 医学教育開発部門事務室（基礎研究棟2階2208室）【在室時間 月～金 8：30～17：00】
担当：木本晶子 kimotoa2@edu.cc.saga-u.ac.jp 電話 0952-34-2249
- 申込締切**
- 2023年11月30日（木）必着
- 提出後、3日以内に受付完了メールが届かない場合は、担当者にお問い合わせください。
- 注意事項**
- このプログラムは、佐賀大学・ハワイ大学医学部の交流事業の一環です。参加者の選抜にあたっては、国際交流事業に対する貢献や、留学で経験したことを本学に還元する意思の有無を重要な参考事項と見做します。
 - 本プログラム参加にあたっては、佐賀大学「コロナ禍における本学学生の海外派遣に係る基本方針」に従います。後日「渡航についての誓約書」を提出してください。
 - 航空券、ホテルは各自で手配してもらいます。
 - 渡航期間は10泊12日以内とします。
 - 佐賀大学が指定する旅行海外保険への加入を義務付けています。
 - 奨学金は帰国後1～2か月経ってから振り込まれます。
 - 後援会や同窓会に入会していない人は、それぞれの奨学金を受給することができません。希望者はどちらも 随時入会して奨学金の受給が可能です。